

「園長より」

水遊びの季節になり、子ども達は毎日プールバックをうれしそうに持って登園しております。
さて先日、年長児が宿泊保育を行ないました。

前日まで雨が降ったり、涼しく肌寒く感じる日もありましたが、予定されていた日程を全て実施できました。

夜の花火後、園に泊まる時が近づきだした頃、どこからか”しくしく”が聞こえ始め、その声は段々大きくなり、「ママがいいー」になりました。

皆、泣きたい不安な気持ちをがまんしていること、大きくなるためには、そのがまんが大切なことを抱きしめながら話し、「ママもきっと、”できるかなーって”心配していると思うよ」と伝えました。

(いつも「ママ」が一番の男の子、大きな行事には”泣いて抵抗する”ので「初の途中棄権か・・・」と内心覚悟しておりました。)

無理はさせず保護者の方に連絡を入れてあげようとしたら、ティッシュで涙と鼻水を拭きながら、小さな声で「皆のところへ行く・・・」と。

私の想像以上に、その子は成長していたのが、うれしくて思わず泣いてしまいました。

この仕事にたずさわって約30年になりますが、たくさん子どもから「感激」をもらっているから続けられております。

子どもを育てているだけでなく、私達も育てられているのを実感しました。

平成27年7月